平成24年度

体育研究所偿此勿

第 7 4 号

福岡県体育研究所

₹812-0852

福岡市博多区東平尾公園 2丁目1-4 電話 (092) 611-0220

FAX (092) 611-1747 E-mail: taiikukenkyusho@pref.fukuoka.lg.jp

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」は、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であると謳っています。昨年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは多くの日本人選手が大活躍し、水泳の鈴木選手をはじめとする福岡県勢のメダル獲得が、私たちに大きな喜びとともに夢や感動を与えてくれました。

スポーツには「する」、「みる」、「支える」の3つの側面がありますが、学校の体育科・保健体育科の教員は、このようなスポーツのもつ魅力を充分児童生徒に伝えられる学習活動を展開してほしいと願っている次第です。 新学習指導要領においては、小学校から高等学校までの12年間を見通して、発達の段階に応じた学習内容を身に付けさせることを求めております。そして、学校卒業後もその選択したスポーツを生涯にわたって続け

当体育研究所では、この新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「『体育的学力』を育む授業づくり」に関する調査研究について、報告書をまとめております。各学校に配付しますので、是非とも御活用ください。また、専門研修においては、子どもの体力低下の課題をはじめ、新学習指導要領の定着を図るため、全国的に著名な講師を招聘して魅力的で実践的な講座を設定することとしています。

ていけるようにすること、いわゆる「豊かなスポーツライフの実現」が新学習指導要領のねらいです。

今後ともこれまでの知的財産を継承しつつ、更に充実した研究や研修に努め、本県の体育・スポーツの充実を図ってまいりますので、関係各位の御支援・御協力をお願いします。

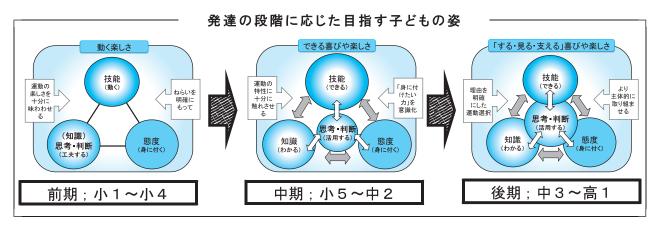
福岡県体育研究所 所長遠矢 修

☆ 福岡県体育研究所の事業概要 ☆

調査研究

平成 22・23・24 年度調査研究事業「『体育的学力』を育む授業づくり」

「体育的学力」とは、体育の指導内容(技能、態度、知識、思考・判断)がバランスよく身に付いた能力のことです。この「体育的学力」がバランスよく高まっていくと、それぞれの資質や能力も高まり、互いの関連も深まっていきます。また、その関連の仕方は、下の図のように、小学校1年から高等学校3年までを4年ごとに区切った「前期・中期・後期」という発達の段階によって異なります。



「体育的学力」を育む授業では、それぞれの資質や能力を発達の段階に応じてバランスよく身に付けさせ、12年間を見通して生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てます。

このことは、運動の日常化や主体的な運動実践を促し、ひいては豊かなスポーツライフの実現に寄与するものと考えます。

「体育的学力」を育む授業のポイント

1. 子どもの意欲を高め思考力を伸ばす教材化

子どもの意欲を高めて成果を上げるために、思わず動きたくなるような運動、必然的に作戦や動き、練習方法を工夫するような仕組み、仲間と協力したり励まし合ったりすることでより効果が高まるような場を設定します。

2. 子どもに力を付ける学習指導過程

指導内容を確かに習得させるために、右の表のように、技能の系統性や発達の段階に応じて「基礎」「基本」「発展」の学習を構成し、それぞれの学習において、「技能」と「態度」「知識」「思考・判断」が関連するようにねらいを明確にして指導します。

	教材化の視点
前期	子どもにとっては楽しさの追究、教師にとっては意図的な ねらいの追究。 <u>運動や場</u> の工夫。
中期	運動の特性に触れることができる <u>ルールや行い方</u> の工夫。 特性に応じたねらいの意識化。
後期	運動の特性を生かした行い方を自分達で工夫し実践する場。 運動文化としてのスポーツ。

	前期	中期	後期		
基礎	主運動の技能を下		効の習得に必要な 学習の確認と補充		
基本	基本的な技や中核的	りな技能 基本 確実に	的な技や技能を 『習得		
発展	発展的な技や技	存能 —	学習を発展させた 高度な技や技能		

3. 子どもに成果を実感させる振り返り活動

子どもの学習意欲を高めるために、発達の段階に応じた具体的な目標をもたせます。そして、その目標と対応した明確な成果を設定し、随時評価できるようにします。そのためには、1単位時間内での振り返り活動の時間設定や、学習カードの活用、自己評価や相互評価、教師の評価といった多角的な評価方法を取り入れます。また、ビデオ等に撮影し、各自が自分の伸びを視覚的に確認できるようにすることも効果的です。

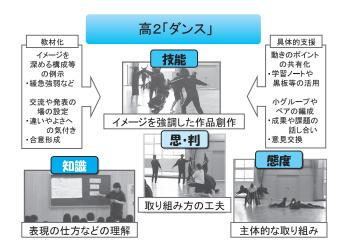
実践編~12学年12実践~

今回の調査研究では、小学校1年生から高等学校3年生まで、各学年一実践の授業を行いました。そして、各学年で発達の段階に応じた目指す姿を設定し、「教材化」「学習指導過程」「振り返り活動」といった指導のポイントに沿って実践する中で、「技能」「態度」「知識」「思考・判断」の資質や能力を関連付けながら育むことができました。

[実践一覧表]

学年	領 域	学年	領 域
小1	走・跳の運動遊び	中1	武道「柔道」
小2	体つくり運動	中2	陸上競技
小3	器械運動	中3	体つくり運動
小4	浮く・泳ぐ運動	高1	体育理論
小5	表現運動	高2	ダンス
小6	ボール運動	高3	球技

小3「器械運動:マット運動」 具体的支援 数材化. ____ 技のポイントの 多様な条件の 場の設定 提示とペア学習 絵で表示 「坂道マット」 評価の観点 段差マット」 課題をもたせる 「トンネルマット」 せまいマット」 言葉がけ -課題の例 「くぼみマット」 ・「クルーン、 シュッ」 ゴムまたぎ」 基本的な技やその繰り返し 「箱跳び越し」 思·剕 練習の場の幅を変える工夫 協力して準備



活用のために

この調査研究事業は、「体育的学力」の考え方や指導のポイントなどを示す解説編と各領域や校種に応じた12の実践例を示す実践編という構成で編集しました。各授業の学習指導過程は、前回の報告書「体育の年間指導計画『福岡プラン』」(平成22年3月)と形式を合わせていますので、セットで活用していただけると思います。「福岡プラン」で年間の計画を立て、本報告書を参考に具体的な授業づくりに取り組んでいただくことで、より充実した授業実践が可能になります。来年度初旬には、各学校及び関係機関に配布するとともに、ホームページにアップロードする予定です。ぜひ御活用ください。

長期派遣研修

本年度の長期派遣研修員は、体育科・保健体育科の担うべき役割を整理し、運動に親しむ資質や能力をバランスよく育んでいくことを柱として、進んで運動にかかわる子ども、自らが運動の楽しさを探究していく子ども、運動やスポーツを継続して実践できる子どもの姿を目指して研究を進めてまいりました。研究成果は、2月14日(木)の「福岡県体育・スポーツ研修報告会」で報告しました。

小 学 校

運動感覚を生かし、進んで運動にかかわろうとする子どもを育てる体育科学習指導 -ハードル走における運動の要素を活用した教材と学習指導過程の工夫を通して-み や こ 町 立 犀 川 小 学 校 教諭 坪根 慎治

中学校

運動の魅力を探究していく生徒を育む武道の学習指導

- 剣道における思考のプロセスを振り返る学習展開の工夫を通して -

久 留 米 市 立 北 野 中 学 校 教諭 須田新之介

高等学校

運動の取り組み方を論理的に考え、実践できる生徒を育てる保健体育科学習指導 -体力を高める運動における知識の共有を図る学習展開の工夫を通して-

福岡県立香椎高等学校 教諭 真鍋 健治

基 本 研 修

基本研修では、教育専門職としての基礎的・基本的な知識及び技能の習得により、教員としての資質を高め、指導力の向上を図ることを目的として、小学校、中学校、高等学校、養護教諭の研修を行いました。

〈小 学 校〉

初任者研修(2日)

10年経験者研修(3日)

〈高等学校〉

初任者研修(9日)

2年経過研修(1日)

5年経過研修(2日)

10年経験者研修(3日)



〈中学校〉

初任者研修(3日)

10年経験者研修(3日)

〈養護教諭〉

新規採用研修 (7日)

5年経過研修(5日)

10年経験者研修(3日)

専門研修(断続研修)

断続研修講座では、これからの学校体育を担う指導者や学校保健活動推進において中核的役割を担う養護教諭を育成するために、専門的な知識や技能の習得を目指した12日間の研修を行いました。 ※「保健体育研修講座」(平成16年度開設、合計98名)、「養護教諭研修講座」(平成22年度開設、合計20名)

<平成24年度断続研修>

保健体育 新宮町立新宮東小学校 教諭 阿部信一郎 福津市立福間南小学校 教諭 清水亜紀子 朝倉市立甘木小学校 教諭 上原 譲治 筑前町立東小田小学校 教諭 柴山真規子 八女市立上妻小学校 教諭 宮原 健次 飯塚市立庄内小学校 教諭 山田 光祐 春日市立春日西中学校 教諭 藤井 隆史 筑前町立三輪中学校 教諭 牛嶋 弘樹 福岡県立朝倉高等学校 教諭 吉永圭一郎 福岡県立西田川高等学校 教諭 松井 智子

養護教諭





(4)体育研究所だより 平成25年2月

専 門 研 修(短 期 研 修)

本年度の専門研修(短期研修)は、17講座を開設し、915名の受講がありました。

器械運動(小) 平成24年10月10日(水)~11日(木)

講師 東京学芸大学 水島 宏一 准教授

〈研修内容〉

<講義>

技の系統性を踏まえた器 械運動系の動きの指導等

器械運動系の指導の実際

- マット運動
- ・鉄棒運動
- ・跳び箱運動



体つくり運動(中・高) 平成24年8月7日(火)~8日(水)

講師 東海大学 大塚 隆 准教授

〈研修内容〉

<講義>

「体つくり運動」の考え方 · <実技>

- 体ほぐしの運動
- ○体力を高める運動 ・ねらいに応じた運動
- ・運動を組み合わせる



平成25年度専門研修(短期研修) 講座案内

対象	講座名	期	日	請	新	Б
幼	運動的な遊び(小可)	8月8日(木)	~9日(金)	東京学芸大学	准教授	吉田伊津美
小	体つくり運動 (小1~4)	7月25日(木)	~26日(金)	安田女子大学	教 授	徳永 隆治
	体育的学力を育む授業づくり	8月1日(木)	~2日(金)	愛 媛 大 学	准教授	日野 克博
	ゲーム (小1~4)	8月21日 (水)	~22日 (木)	早稲田大学	准教授	吉永武史
	浮く・泳ぐ、水泳〈中高可〉	6月20日(木)	~21日 (金)	筑波大学大学院	教 授	椿本 昇三
小	体つくり運動 (小5~中2)〈高可〉	8月6日(火)	~7日(水)	国士舘大学	准教授	細越 淳二
中	ボール運動、球技(小5~中2)〈高可〉	10月17日 (木)	~18日 (金)	立命館大学	教 授	大友 智
	ダンス〈小可〉	7月2日(火)	~3日(水)	愛 媛 大 学	教 授	牛山眞貴子
山	体育の教材づくり	10月10日 (木)	~11日(金)	信 州 大 学	教 授	岩田 靖
高	体育理論	10月9日 (水)		鹿屋体育大学	教 授	佐 藤 豊
	保健の学習指導	9月24日(火)		筑波大学大学院	教 授	野津有司
	柔道	6月26日 (水)	~27日 (木)	埼 玉 大 学	教 授	野瀬 清喜
	特別支援の視点に立った体育の学習	10月31日 (木)		東 海 大 学	准教授	内田匡輔
小	学校安全	7月12日(金)		東京学芸大学	教 授	渡邊 正樹
中	学校体育経営	9月20日(金)		山梨大学	教 授	中村 和彦
高	養護教諭の資質能力の向上	8月22日 (木)		愛知教育大学	教 授	後藤ひとみ
	トレーニング指導者研修(一般可)	11月1日(金)		順天堂大学	准教授	鯉川なつえ

■は、新規・講座内容の改編

ホームページの紹介

ホームページでは、主な事業 ※福岡県体育研究所 内容を中心に情報を掲載して います。是非御利用ください。

〈調杳研究事業〉

過去の調査研究をまとめた研 究報告書をダウンロードでき ます。

〈研修事業〉

専門研修講座、基本研修、

長期研修等の内容を紹介しています。

〈DVD 貸出〉

短期研修講座の DVD を貸し出します。 詳しくは「研修・相談事業」を御覧ください。

<HP アドレス http://www1a.biglobe.ne.jp/taiken/>

本集の体育・スポーツ開係機関・団体が1年間の研究の成果を発表する 「平成24年度は国際体育・スポーツ研修報告会」を平成25年2月14日(木 に開催します。別しな新着情報をご覧ください。

所在地 〒612-0692 福岡市博多区東平尾公園2丁目1番4号 福岡県立スポーツ科学問報センター(アクシオン福岡)内

学校への支援活動

体育研究所では、校務の関係で専門研修を受講できな いといった先生方の御意見を受け、学校のニーズに応 えることができるよう、次のような支援活動を行って います。お気軽に御相談ください。

- ○研修会等への指導主事の派遣及び講師紹介
- ○体育・スポーツに関する資料、視聴覚教材の収集 及び貸出
- ○来所、電話等による相談への対応
- ○カリキュラム作成に関する支援
- ○サークル活動への支援

平成 24 年度支援回数 129 回(H25.1 現在)